

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
		上陸申請時における外国人本人(特別永住者や16歳未満の者等、一部例外を除く)及び自動化ゲートを利用する日本人からのバイOMETRICS(指紋及び顔写真)の取得・照合件数	活動実績		件数	32,845,759	50,787,612	56,150,236	-	-	
			当初見込み	件数	27,043,628	34,592,016	63,628,972	43,640,136	-		
単位当たりコスト		算出根拠			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
		(1)バイOMETRICS取得のコスト (執行額／バイOMETRICSの取得・照合件数)	単位当たりコスト		円	128	98	46	60		
			計算式	百万円／件数	4,192/ 32,845,759	4,999/ 50,787,612	2,593/ 56,150,236	2,621/ 43,640,136			
単位当たりコスト		算出根拠			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
		(2)(1)のうち自動化ゲート利用のコスト (自動化ゲート分執行額／日本人自動化ゲート利用者数)	単位当たりコスト		円	95	88	5	6		
			計算式	百万円／人	309/ 3,267,946	1,674/ 18,957,099	136/ 27,771,275	147/ 22,946,400			
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	出入国の公正な管理(V-13)								
		施策	円滑な出入国審査及び不法滞在者等対策の推進(V-13-(1))								
		測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度	
			実績値	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	-										
	新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-							
		(KPI 第一階層)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	元年度	2年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善				
	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	我が国では、自国の安全や利益を守りつつ、円滑に外国人を受け入れるなど、公正な出入国管理を図ることが求められているところ、個人識別情報システムの維持・管理は、国民や社会のニーズを反映した事業目的である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	地方自治体、民間等の独自性や主体性が発揮されるべき業務ではない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	当該政策を達成する上で必要不可欠な優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	競争性を確保するため、一般競争入札案件については、特定の者に有利となることなく、複数の業者が参加できる内容の仕様書を作成した。また、情報システムに係る調達仕様書作成においては、「法務省デジタル・ガバメント基本計画」に基づき、競争性が確保されるよう仕様書を作成している。さらに、一者応札や随意契約となった場合には、CIO補佐官等の知見を得て原因分析を行うなど調達改善の取組強化を行っている。
		競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
		受益者との負担関係は妥当であるか。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	本システムが効率的な業務実施のために活用されており、それによって単位当たりコストが大幅に下がっている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は事業目的に即し、真に必要なものに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	-
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	バイオメトリクスシステムの維持・管理に関する成果実績は、成果目標に見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	バイオメトリクスシステムの維持・管理に関する活動実績は、見込みに見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	システム改修等の検討に当たっての基礎資料として十分に活用している。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	
	所管府省名	事業番号	事業名	
			-	
点検・改善結果	点検結果	・個人識別情報システムは、平成19年11月からシステムを稼働し運用しており、現時点において、安定的な運用がなされている。 ・顔認証ゲートの導入により自動化ゲート利用者数は、前年に比べて大幅に増加しており、有効活用されている。		
	改善の方向性	・個人識別情報システムは、水際対策の徹底に不可欠なものであることから、引き続き、安定的に運用することとする。		
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				

備考							
平成22年度行政事業レビュー公開プロセス対象事業（事業番号：67，事業名「バイOMETリクスシステムの維持・管理」） ○結果 抜本的改善 ○主なコメント 自動化ゲートについて費用対効果を明確にする必要がある。 ○対応状況 出入国審査全体の中での自動化ゲートの位置付けを見直した上でバイOMETリクス全体について、将来のあるべき姿について調査・研究し、その結果を踏まえ、設置台数・配置等について見直しを行った。							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	0063	平成24年度	0068	平成25年度	0077
平成26年度	0064	平成27年度	0061	平成28年度	0060	平成29年度	0060
平成30年度	0060						
平成31年度	法務省（0062）						
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する） （単位：百万円）	※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。						
	法務省 2,593百万円 出入国の公正な管理に必要な物品の賃貸借及び役務の契約等 【随意契約（その他）】等 A. 日本電気株式会社ほか 2,593百万円 出入国管理業務個人識別情報システム用バイOMETリクス装置等賃貸借ほか						
	A. 日本電気株式会社			B.			
	費目	使途	金額 （百万円）	費目	使途	金額 （百万円）	
	借料及び損料	個人識別情報システム装置等賃貸借料	1,843				
雑役務費	個人識別情報システムに係る運用支援業務等	398					
計		2,241	計		0		

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電気株式会社	7010401022916	個人識別情報システム端末用ソフトウェア等	2,241	随意契約 (その他)	-	-	契約の相手方は、当該ソフトウェアの当初契約において一般競争入札により落札した者であって、当該ソフトウェアを継続して賃貸可能な者は契約の相手方のみであり、競争を許さないことから、随意契約としたものである。
2	NECキャピタルソリューション株式会社	8010401021784	個人識別情報システムにおける指紋認証ゲート機器賃貸借料等	121	随意契約 (その他)	-	-	-
3	パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社	3010001129215	IC旅券対応・出入国審査等旅券自動読取装置の保守等	90	随意契約 (その他)	-	-	-
4	三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社	1010001146146	IC旅券対応・出入国審査等旅券自動読取装置等の賃貸借料等	82	随意契約 (その他)	-	-	-
5	株式会社JECC	2010001033475	特定登録者情報システムの開発に伴う指紋認証ゲート用追加機器等に係る賃貸借料等	59	随意契約 (その他)	-	-	-